

MINDAN



# 脱北者支援 Report

編集・発行=脱北者支援民団センター TEL:03-3454-5811(FAX兼) e-mail : sien@mindan.org



1959年から始まった北送事業のなか、新潟赤十字センターで船を待つ子供ら

## 実を結びつつある支援センターの活動

～在留の資格等がスムーズに～

北韓を脱出し、死線を乗り越えて日本に戻った元在日同胞やその家族を支援しようと03年6月に発足した脱北者支援民団センターの活動が着実に実を結びつつあります。

脱北者は当初、「短期滞在(90日間)」資格で日本に入国した後、定住者資格に資格変更していました。ですが、手続完了まで数カ月、長い場合には10カ月以上かかる例もありました。その間、定住者資格がないことから国民健康保険にも加入できないばかりか銀行口座の開設、賃貸住宅への入居、電話、電気、ガス、水道など生活一般にかかわる手続きに苦勞を強いられてきたのです。

支援センターは、関係当局や市民団体など官民と協力して真摯に脱北者の支援に当たる中で、脱北者が極力不利益を被らないようにと要望を続けてきました。その結果、日本に入国した時点で「短

期滞在」よりはるかに安定した「定住者」の資格が付与されるケースも出てきました。

しかし、基本的な構図は変わっておりません。脱北者らは、日本国籍を潜在的に有する人には行政上の保護が速やかに行われるのですが、日本に到着したその日から住居に困るのが現状なのです。支援センターでもすぐに入居できる住居探しに頭を痛めております。支援活動に呼応した事業者から空いている社員寮の無料提供を受けるなどで対応してきましたが、それにも限界があります。住居の確保を関係当局に要望してきた結果、最近では公的機関が運営する施設へ入居できるケースがようやく増えてきました。

今ひとつ脱北者にとっての大きな問題は、日本社会への適応です。脱北者の中には30～40年ぶりに日本へ帰国した方が多く、交通機関や銀行の

利用方法なども以前とは比べものにならない状態となっており、入国してから初めの3ヶ月間は買い物やゴミの分別の仕方、交通機関の利用方法や銀行でのATMの操作に至るまで基本的な生活方法を指導しなければなりません。

支援の過程で、脱北者らが身体的に不調を訴える

だけではなく、心的な部分で相当なダメージを受けていることが判明しました。脱北者の心的状況に詳しい精神科医に個別の診断をして貰ったところ、第1次的には北韓内の収容所で拷問を受けたことや親族が拷問死、あるいは餓死することによりトラウマ(心的外傷)を抱え、第2次的には国境を越え、毎日怯えながら公安の目をかいくぐる隠遁生活によって大きな心理的ダメージを受けていると言います。第3次的には、生き延びるために自ら日本へ帰国したものの、考え方の違いにより日本社会へ適応しにくいことや将来への不安、北韓に残してきた親族のために身分を明かすことが出来ない苦しみ等が積もり、PTSD(心的外傷後ストレス傷害)になっているケースも多くみられると言います。



ハナ院の講義施設

韓国では脱北者の生活定着支援施設である「ハナ院」があり、各種定着プログラムを始め、文化的違和感解消プログラムも用意されており、銀行の利用法、自動車教習、法律知識等、実生活に必要なことを約2カ月の間、全ての脱北者が学び、定着金も支給されるので社会への適応がスムーズにいくなようなシステムが構築されています。

日本に入国する元在日同胞の脱北者は、今後とも増えると見られています。支援センターでもより広範な理解を得て支援を展開する計画ですが、民間の支援態勢には限度があります。当支援センターでは、日本に入国する脱北者に対し日本政府が難民として認定し、日本に定着するための生活支援のプログラムを提供する事を求めています。

## 米国の北朝鮮人權法と 日本各政党の法案

昨年10月に北朝鮮人權法が米国上下両院を満場一致で通過、北朝鮮の人權状況の改善と脱北者保護、米国の北朝鮮人權担当特使任命などを骨子とする北朝鮮人權法は、米国の法律として正式に成立しました。

米人權法成立を受け、日本の民主党もこれまでに法案策定に着手。骨子案は脱北者に対し、原

則として定住者としての在留資格を与え、職業や日本語教育などの支援を行うというものです。また、脱北者を支援する民間団体への財政支援や情報提供も含まれています。

これに対し自民党は、2月初めに脱北者の保護や北朝鮮の人權状況の改善に取り組むNGO(非政府組織)への支援などを盛り込んだ北朝鮮人權法案の骨子素案をまとめました。

当支援センターでは脱北者の受け入れがよりスムーズになるという観点から法案の行方を注視しております。

## 中国政府は難民としての処遇を ~元在日脱北者らの訴え~

中国公安当局が脱北者を摘発、北韓への強制送還を続けている事実に対して日本入国に成功した脱北者らは、中国が脱北者を難民として処遇することを強く望んでいます。

これは、支援センターがこの間の日本入国脱北者から事情を聞く中で明らかになったものです。

中国内で公安当局に逮捕されたのちに北韓に送り返され収容所で酷い仕打ちを受け、再度脱北し日本へ入国したある脱北者は、北韓に行けば迫害されることをいくら主張しても一切聞き入れられず、北韓へ送り返した中国に対し強い憤りを訴えています。

自らの体験を踏まえて脱北者は、難民認定して中国国内での安全確保および第三国への出国を許可するよう求めています。

### 日本人妻への関心を

さらに、脱北者のなかの日本人妻らは、北送事業で北韓に渡った日本国籍者も酷い差別を受け、さらに強制収容所で拷問を受けるなどの迫害されている事実を明らかにしたうえ、「日本政府が北韓にいる日本国籍者の現状にもっと関心を持ち、対処してほしい」と涙ながらに強く訴えています。

## — 新刊のご案内 —

### わたしは、こうして 北朝鮮で生き抜いた!

「脱北」した元在日朝鮮人が明かす「統制経済」が崩壊した後の北朝鮮の庶民の生活

著者プロフィール

梁東河 (ヤン ドンハ)

在日朝鮮人の父親と日本人の母親との間に戦後の東京都内で出生。1959年から始まった帰国事業で北朝鮮へ。2000年を過ぎて脱北。潜伏先の

中国で中国人の戸籍を作り、中国人として入国。現在に至る。

2005年1月26日(水) 発刊  
好評発売中!

ISBN 4-08-781324-X,

定価: 1890円  
本体 1800円



## ~ 書 評 ~

著者の梁氏は、在日の父と日本人の母の間に生まれ、「帰国事業」で「地上の楽園」に渡った2世である。脱北して現在は中国籍を持っている。在日出身の脱北者の話は、いろいろと伝えられているが、この本には「目からうろこが落ちる」というほど驚かされた。「監視されることが空気になっている」社会にも、普通の人間の生活があるということがわかったからだ。

著者は北の体制に順応するために、あえて現地の女性と結婚した。「帰国者」にはまれなケースだ。社会主義建設の一員になると言い聞かせ、自ら肉体労働に飛び込んで死ぬほど働いた。知恵と要領を駆使し、北で生きるステータスである労働党員にまでなった。その一方、最後まで社会への同化を拒否した友人が、悲しい末路をたどったのとは、対極にある。

しかし、国家あげての壮大な無駄を「シジフォスの神話」と揶揄するまではよかったが、金日成の死後、金正日が登場してからの北は、配給制度が瓦解するなど、社会が迷走し始めた。北で生きることの矛盾に我慢ならなくなった上に、決定的だったのは、「朝鮮革命の失敗は、『帰国者』が朝鮮に入ってきたからだ」と記された人民委員会報告書を見てしまったことだ。未来が遮断され、絶望したあげくの脱北であった。

## 韓商連が新たに飲料水の販売収益200万円を寄付

継続的に脱北者の支援を展開してきた在日韓国商工会議所(韓商連=金建治会長)は1月11日、「脱北者支援民団センター」に200万円を伝達した。

これは、同商工会議所が脱北者支援の一環として、金一雄副会長が中心となって展開しているザクロジュースの販売収益の一部を寄付したものである。このほど開かれた民団中央執行委員会の席上、脱北者の支援に役立てて欲しいと金会長と金副会長が民団中央本部の金宰淑団長、呂健二支援センター代表に手渡した。

呂代表も、「有意義に使わせていただく」と述べると同時に、これまでの継続した支援に対しても謝意を表した。同韓商連は、これまでも全国的にチャリティーゴルフコンペを開催するなどして支援活動を展開し、支援総額は今回をあわせて425万円にのぼる。



寄付の贈呈。左から呂健二代表、金宰淑団長、金建治韓商連会長、金一雄副会長

## 脱北者支援センターへの協力に感謝いたします。

(04年7月以後分)

在日韓国商工会議所連合会  
..... ¥2,000,000  
徐泰者 ..... ¥1,000,000  
神奈川青商 ..... ¥200,000  
許孟道 ..... ¥50,000  
崔相英 ..... ¥50,000  
金重根 ..... ¥50,000  
成鍾泰 ..... ¥50,000  
呉龍夫 ..... ¥50,000  
(株)光輝興産 ..... ¥50,000  
三木由紀子 ..... ¥40,000  
新井茂範 ..... ¥30,000  
李龍吉 ..... ¥30,000  
河炳旭 ..... ¥30,000  
姜憲造 ..... ¥30,000  
韓在銀 ..... ¥30,000  
李年子 ..... ¥30,000  
高英寛 ..... ¥20,000

孫性祖 ..... ¥20,000  
崔三郷 ..... ¥20,000  
王清一 ..... ¥20,000  
具胤書 ..... ¥20,000  
林三錫 ..... ¥20,000  
李七斗 ..... ¥20,000  
外山朝子 ..... ¥15,000  
鋤柄慎吾 ..... ¥15,000  
山本ちゑ子 ..... ¥10,000  
金泰勲 ..... ¥10,000  
金二泰 ..... ¥10,000  
高桂煥 ..... ¥10,000  
島本商事(株) ..... ¥10,000  
沈勝義 ..... ¥10,000  
林采洪 ..... ¥10,000  
朴興謨 ..... ¥10,000  
林悠子 ..... ¥10,000  
金漢翊 ..... ¥10,000

朴昭勝 ..... ¥10,000  
白玉基 ..... ¥10,000  
李龍権 ..... ¥10,000  
金竣兌 ..... ¥5,000  
石沢富夫 ..... ¥5,000  
黄 徹 ..... ¥5,000  
梁致福 ..... ¥5,000  
徐龍達 ..... ¥5,000  
鈴木フサ ..... ¥3,000  
李松蓮 ..... ¥4,000  
西沢琴子 ..... ¥2,000

(順不同 敬称略)

支援センターは皆様的心ある寄付によって運営されております。今後ともより一層のご支援をお願い致します。